

< 観点別評価の事例 >

【観点別評価】

財務諸表から数値を読み取り、意欲的にグラフ化しようとしている。

【関心・意欲・態度】(行動観察)

(A) 十分満足できる (その具体的な状況)	(B) おおむね満足できる	(C) 努力を要する (生徒への手だて)
前時までに学習した分析結果のグラフ化表現をもとに自ら進んで課題に取り組んでいる。	財務諸表から数値を読み取り、意欲的にグラフ化しようとしている。	財務分析に用いる項目と分析結果のグラフ化表現に必要な手順を指導し、関心をもてるよう支援する。

分析結果をもとに経営状態を把握し、企業の特徴をとらえることができる。

【思考・判断】(ワークシート)

(A) 十分満足できる (その具体的な状況)	(B) おおむね満足できる	(C) 努力を要する (生徒への手だて)
財務諸表分析の4つの観点から、適切な経営分析がなされ、企業の特徴をとらえ、改善策などを提案している。	分析結果をもとに経営状態を把握し、企業の特徴をとらえることができる。	財務分析に用いる項目について理解させ、グラフからその数値を読み取り、判断できるよう支援する。

【評価の実際】

別紙の観点別評価の結果、およびワークシートの記述状況を参照。

【成果と課題】

(成果)

- ・ 具体の評価規準を設定していることにより、授業における学習到達目標が具体的に示され、観点別評価ABCにより、生徒一人一人の到達度が明らかになる。つまり、毎時間の授業において、生徒、教員ともに何をしなければならないのか、明確化される。
- ・ 観点別評価によって、(A)は生徒の学習の程度についての質的高まりや深まり、(B)はその授業で身に付ける力、(C)は生徒のつまずき(すなわち教員の生徒への支援)として現れ、指導と評価の一体化のための参考資料となる。毎時の授業における評価結果は、単元ごとに観点別に示され、あるいは観点ごとに単元別に示されることにより、個人内評価としてフィードバックされる。

(課題)

- ・ 行動観察による評価の場合、その授業時間内にすべての生徒を評価することは困難となる場合がある。ひとつの授業の中で、行動観察を評価方法とする観点別評価をいくつも設定することは、現実的に不可能である。
- ・ 評価結果が、観点別評価のA「十分満足できる」とB「おおむね満足できる」との間の境界線上になってしまう場合、判定が困難になる。ときには、目標に準拠した評価(絶対評価)をすべきはすが、集団に準拠した評価(相対評価)になってしまう恐れがある。
- ・ 観点別評価の総括に関わって、単元における評価規準の重み付けをどのように設定するのか、4つの観点間のバランスを考慮するのか、課題である。
- ・ 自己評価シートを作成する場合、その自己評価結果をどのように観点別評価へ移行させるか、それらを考慮した自己評価シートを作成する必要があるのか、課題である。
- ・ 習熟度別にクラスが分けられている場合、評価規準をどのように設定し評価するのか、つまり、習熟度によって異なる規準を設定するのか、それとも同じ規準で評価するのか、課題である。

【観点別評価の結果】

番	氏名		
		A	A
		A	A
		A	A
		A	A
		A	A
		A	A
		A	B
		A	B
		A	A
		A	A
		A	A
		A	B
		A	B
		A	B
		A	B
		A	A
		A	B
		A	B
		A	A
		A	A
		B	A
		A	B
		A	A
		B	A
		A	B
		B	A
		A	A
		A	A
		B	A
		A	A
		A	A
		A	A
		A	B
		A	A
		A	A
		A	A
		A	A
		B	A
		A	A

財務諸表から数値を読み取り、
意欲的にグラフ化しようとしている。
【関心・意欲・態度】（行動観察）

分析結果をもとに経営状態を把握し、
企業の特徴をとらえることができる。
【思考・判断】（ワークシート）

【観点別評価の事例】「A (十分満足できる)」と判断したワークシート

ビジネス情報 (水曜 1限)

2005/06/14

名前 ()

復習：財務諸表分析四つの観点

■収益性の分析

収益性とは…企業がどれだけ収益を上げたか

■成長性の分析

成長性とは…企業がどれだけ成長(発展)したか

■生産性の分析

生産性とは…企業財産がどれだけ有効に利用されているか

■安全性の分析

安全性とは…企業の経営状態がどれだけ安全か

本時の課題：実社会にある企業の財務諸表分析をしよう！

1. 分析する項目

- ①総資本経常利益率…総資本に対してどれだけの経常利益を上げたか
- ②売上高経常利益率…売上に対してどれだけの経常利益を上げたか
- ③流動比率…短期の支払能力はあるのか
- ④自己資本比率…総資本のうち、自己資本がどのくらいの割合を占めるか
- ⑤総資本回転率…調達した資本が1会計期間に何度利用されたか
- ⑥有形固定資産回転率…設備投資の資金が有効に利用されているか

2. データを入力し、レーダーチャートにして、4つの観点から分析して、経営状態や企業の特徴を書いてみよう。

・収益性の売上高経常利益と、安全性の自己資本比率だけが比較に高いクラスになっている。→自己資本を多く持ち、売上に対しては多くの経常利益を上げている企業だと見える。
 ・生産性はあまり良くないことが分かる→企業財産はあまり有効に利用されていない。
 →大企業である。
 ・自己資本比率は高いのに対して、流動比率は低い。
 ・収益性と安全性は項目によって高低の差がある。

《改善策》
 固定資産の無駄が多い状態→無駄も減らす。生産性が向上する。総資本経常利益率も上がる。減らした分を、流動資産にあてる。→流動比率が向上する。

【観点別評価の事例】「B (おおむね満足できる)」と判断したワークシート

ビジネス情報 (水曜 1限)

2005/06/14

名前 ()

復習：財務諸表分析四つの観点

■収益性の分析

収益性とは…企業の収益の状況を見る

■成長性の分析

成長性とは…企業がどれだけ発展したか

■生産性の分析

生産性とは…企業の財産がどれだけ有効に使われているか

■安全性の分析

安全性とは…企業の財務内容を見る

本時の課題：実社会にある企業の財務諸表分析をしよう！

1. 分析する項目

- ①総資本経常利益率…総資本に対してどれだけの経常利益を上げたか
- ②売上高経常利益率…売上に対してどれだけの経常利益を上げたか
- ③流動比率…短期の支払能力はあるのか
- ④自己資本比率…総資本のうち、自己資本がどのくらいの割合を占めるか
- ⑤総資本回転率…調達した資本が1会計期間に何度利用されたか
- ⑥有形固定資産回転率…設備投資の資金が有効に利用されているか

2. データを入力し、レーダーチャートにして、4つの観点から分析して、経営状態や企業の特徴を書いてみよう。

たくさん自己資本を持っているけど、短期の支払能力がない
 売上に対する収益は多い
 総資本の投資のわりにそれに比べて収益は低い
 資本の利用率が悪い
 生産性が2つと低い